

すべての社員が幸せな職場こそ企業のエネルギー源」を持論とする村尾隆介氏は、会社のブランド戦略を専門とするコンサルタントの達人だ。国内外、数千の企業と接し、「楽しく仕事をしている会社は価値のある会社」だと実感するという。村尾氏だからこそ語れる、「夢を感じる会社」とはなにか。

ビジョンの前に、 ミッションが必要だ

「夢のある会社には、なによりもミッション(使命)達成すべきことがあると思うのです」と、村尾氏はまず切りだした。

「なぜこの商品を売るか、業界をど

う変えていきたいのか。なんでもいいのですが、とにかくミッションが明確でなければ人材も集まりようがありません」

「確固たるミッションがあればゴールも定まり、企業全体のビジョンが決定されることが氏の話からわかる。「なにをするか社会に対して宣言する」という点で、起業は選挙に似てい

ンも高い。さらに、「夢のある会社はつねに前進している」と言う村尾氏は、そのタイプを4つのキーワードで分類する。まず、野心的に「業界を変えていく会社」、国際的な視野で「世界を舞台にする会社」。そして未来志向の「新しいテクノロジーをもつ会社」、実験的な「人間の感情に訴えかける会社」だ。

夢を感じる会社、感じない会社

村尾隆介

「スターブランド・フロントマン」



るともいえますね。社長は賛同者を集め、公約を実現させなければならぬのですから。ただその内容について言うと、『事業を通じて社会貢献する』といったありきたりのコピーに代表されるように、ハウ(いかに)が抜けている会社が多いのも事実なんです。このハウがない会社には夢もないと私は思うのです。そんな企業は外部からもわかりにくく、当然、魅力もありません」

社員ひとりひとりがミッションを理解し、具現化できる職場は、やりがいがあるから楽しく、モチベーション

そろって真に世界に匹敵する和モダンの高級リゾート『星のや 軽井沢』を実現させた『星野リゾート』が筆頭でしょう。女性の目線に立って清潔で丁寧な仕事をするという評価の高い『女性建築家チーム』も、男性中心だった建築・リフォーム業界に一石を投じている会社だと思えます」

業界をリードするという自負が各社員に芽生えれば組織全体が活性化その活気は顧客にも波及しポジティブなスパイラル効果が生まれることはまちがいない。情報の飛躍的なグローバル化で、2つめの『世界を舞台

「最初の『業界を変
える会社』とは、ユ

ニークな発想で旧来
の常識を変えて成功
あるいは成長してい
る企業です。日本の

ホテル・旅館業を例
にとると、ホスピタ
リティ、ビジュアル

にする会社』はサービス、教育業を牽引役にのびると村尾氏は予想する。

「こうした会社はロボット産業や宇宙ビジネスと同じくらい夢があると私は思うのです。人的交流、業務内容とともに、世界を相手にどこまでも広がるボーダレスな可能性があるからです。幼児教育ひとつをとってもインターナショナル化、細分化が進むなか、理科・数学を教える完全英語教育を特徴とする東京・吉祥寺の『リトルエンジェルス・インターナショナルスクール』は、5年後の日本の教育事情を象徴する存在ですね」

『新しいテクノロジーをもつ会社』については、

「王道ですが宇宙開発に臨む『有人宇宙システム』など、幸福な人類社会を拓く平和目的の新テクノロジーにはかぎらない夢を感じますね」

最後の『人間の感情に訴えかける会社』は現代ビジネスの最先端。エンターテインメント的な喜びよりも深い感動がビジネステーマだから、分野自体に未来性と潜在的成長力があるといえそう。

「NPO法人『ダイアログ・イン・ザ・ダーク・ジャパン』の例がわかりやす

いでしよう。これはもともとドイツのNPO団体のイベントから出発した、目の不自由な人に導かれて暗闇を移動するという体験プログラム。

まったく未知の時空間を体験し、素の感情を味わった個人同士がディスカッションするのですが、いまでは企業のチームビルディングにも採用されている新しい『サービス』です」

村尾氏が考える夢のある会社、4カテゴリーには共通する意思がある。

「方向性も着地点もわからないと右往左往する企業が多い昨今ですが、そんな会社は時間・お金・ヒトの使い方などすべてにムダが多いはず。余裕のなさはイコール、夢のなさにつながります。問われるのは『こうしたいー』『こう変えたいー』を発信できているかどうか。そんな意思のある会社に、私はたしかな夢を感じます」

夢のある会社に大小は関係ない。必要なのは、つねに前へ前へと自力で進むエネルギーなのだ。

むらお・りゅうすけ / 14歳からアメリカに留学し、ネバダ州立大学卒業後、本田技研に入社。起業の夢をもち、小さな会社のブランド戦略を手がけるコンサルティング会社スターブランドを設立する。ビジネス的に連携する浜口隆則ビジネスバンク社代表取締役との共著『だれかに話したくなる小さな会社』が話題に。

■村尾隆介さんがすすめる「夢のある仕事」ができる会社

社名	採用の傾向	会社の特徴
● 星野リゾート	内定者約70名('09年度実績)。判断力と、「自由に意見をいえる」意思のある人材を求める。異業種からの中途採用も多い。	世界に通用する日本の高級リゾートをテーマに、全国に14のホテル・旅館を展開。地域の文化・自然を演出するエコツーリズムを牽引し、ゼロエミッション(ゴミ削減)、エネルギー自給にも取り組む。
● 有人宇宙システム	'07年度21名(新卒3、中途18)。実務的な英語力を前提に、コミュニケーション能力など総合的な人間力を重視。	宇宙開発・利用を促進。国際宇宙ステーションで稼働する日本実験棟「きぼう」を運用し、民間の宇宙ビジネスを支援。市民と宇宙を近づける「花伝説・宙へ!」など文化プロジェクトも展開。
● 株式会社女性建築家チーム	チャレンジ精神と向学心のある人。人の世話が好きで素直な人を求む。建築関連資格の有無は問わない。	デザイナーズリフォームを中心とした建築設計施工業。社員の主な仕事は顧客と女性建築家の橋渡し。設計の打ち合わせに参加し、現場監理、引き渡しまで立ち会う。施工も自社で請け負っている。
● 旅籠屋	'08年、本社スタッフを4名、いずれも中途採用した。理念や目的に共感し、社の次代を担う意欲が条件。	アメリカのMOTELをお手本にした日本初の汎用ロードサイドホテル「ファミリーロジ旅籠屋」。高速道路のSAやPAを含め直営店舗を全国に拡大中。新しい旅行スタイルの提案を目指すコンセプト重視のベンチャー企業。
● ファイブスターズエンターテイメント	毎年1名新卒採用。プロスポーツ業界をビジネスの視点で捉えられる人、経営者の視点で考え行動できる人。	プロ野球、Jリーグ等プロスポーツチーム専属のチアリーダーの運営やイベント等エンターテイメントの企画運営を行う。「Sports」「Spirit」「Smile」「Showmanship」「Sensation」という5つの「S」を基本理念にして活動している。
● リトルエンジェルス・インターナショナルスクール	英語力と子供たちとのコミュニケーション能力。	インド人女性のジーバラニ・エンジェリーナ氏を学園長に、幼児から理科、数学を教える、楽しみながら世界のカリキュラムの良い点を取り入れた独自の完全英語教育を特徴とする。
● ダイアログ・イン・ザ・ダーク ジャパン	アテンドスタッフ(全盲)・スタッフを募集中。お互いに自立し、成長し続けられる人材を求める。	真っ暗な空間を全盲のスタッフに導かれ視覚以外の感覚で体験する展示会を各地で開催。人間の多様性を認めながら対等に生活できる「心のバリアフリー社会」の実現に寄与する。